

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月23日 (2018.8.23)

【公表番号】特表2017-528437(P2017-528437A)

【公表日】平成29年9月28日 (2017.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-037

【出願番号】特願2017-505143(P2017-505143)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/775 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/775

C 0 7 K 19/00 Z N A

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 37/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 38/16

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月13日 (2018.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アポリポタンパク質（アポ E）の受容体結合ドメインと脂質関連ペプチドとを含む合成アポ E 模倣ペプチドであって、

前記合成アポ E 模倣ペプチドは、脂肪酸部分、 - アミノ脂肪酸部分、またはアセチル化 - アミノ脂肪酸部分を含む、前記合成アポ E 模倣ペプチド。

【請求項 2】

前記合成アポ E 模倣ペプチドが、脂肪酸部分を含む、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 3】

前記脂肪酸部分が、8 ～ 14 の炭素原子の長さである、請求項 2 に記載のペプチド。

【請求項 4】

前記脂肪酸部分が、カプリル酸、ペラルゴン酸、カプリン酸、ウンデシル酸、ラウリン酸、トリデシル酸又はミリスチン酸である、請求項 3 に記載のペプチド。

【請求項 5】

前記脂肪酸部分、前記  - アミノ脂肪酸部分、または前記アセチル化 - アミノ脂肪酸部分が、前記ペプチドの N 末端にある、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 6】

前記脂質関連ペプチドが、クラス A の両親媒性の螺旋ドメインを含む、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 7】

アポ E の前記受容体結合ドメインが、LRKLRKRLLR（配列番号 4）、LRRLLRRRLLR（配列番号 11）、LRKMRLKRLMR（配列番号 7）、RLTRKRLGLK（配列番号 13）、LRRMRRLRLMR（配列番号 621）、または RLTRRLRGK（配列番号 622）である、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドを含み、且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい、医薬組成物。

【請求項 9】

LDL 及び / 又は VLDL の対象の細胞への結合を高めるため、  
対象の細胞による LDL 及び / 又は VLDL の分解を増加させるため、  
対象における LDL 及び / 又は VLDL コレステロールを低下させるため、及び / 又は  
対象におけるコレステロールの血漿中総濃度を低下させるための、請求項 1 ～ 7 のい  
ずれか 1 項に記載の合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドを含み、且つ薬学上許容可能な  
担体を含んでいてもよい医薬組成物。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドを含み、且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい、血漿コレステロールを減少させるための  
医薬組成物。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドを含み、且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい、アテローム性動脈硬化症を治療するた  
めの医薬組成物。

【請求項 12】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドを含み、且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい、脂質障害を治療するための医薬組成物。

【請求項 13】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドを含み、

且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい医薬組成物であって、

前記合成アポリタンパク質 E 模倣ペプチドは、少なくとも 1 回の治療サイクル期の間  
投与され、

前記合成アポリタンパク質 E 模倣ペプチドは、前記治療サイクル期の後に続く休止期  
の間は投与されず、且つ

前記合成アポリタンパク質 E 模倣ペプチドの中止後に治療効果が持続する、前記医薬  
組成物。

【請求項 14】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の合成アポリタンパク質 E 模倣ペプチド含み、且  
つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい、急性冠症候群（ACS）を治療するための  
医薬組成物であって、

前記合成アポリタンパク質 E 模倣ペプチドは、少なくとも 1 回の治療サイクル期の間  
投与され、

前記合成アポリタンパク質 E 模倣ペプチドは、前記治療サイクル期の後に続く休止期  
の間は投与されず、且つ

前記合成アポリタンパク質 E 模倣ペプチドの中止後に治療効果が持続する、前記医薬  
組成物。

【請求項 15】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の合成アポリタンパク質 E 模倣ペプチドに特異的  
に結合するモノクローナル抗体。